

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2023.02.16

バージョン番号: 2

改訂日: 2023.02.16

項目 1: 化学品及び会社情報

- ・ 製品識別
- ・ 化学品の名称 GC 8
- ・ 製品コード 1899900-25, 1899900-26, 98500090-82
- ・ 該当純物質または混合物の関連特定用途及び使用禁止用途 追加的な関連情報は得られていません。
- ・ 推奨用途 接着剤
- ・ 安全データシートの供給元の詳細情報
- ・ 供給者の会社名称、住所及び電話番号
供給者の会社名称 アルファ・ラバル株式会社
住所 東京都港区港南2-12-23
電話番号 03-5462-2442
(問合せ先) 神奈川県高座郡寒川町一之宮7-11-2
電話番号 0467-75-4459
- ・ 情報問合せ先:
安全性データシートに関する質問については、最寄りの販売会社にお問い合わせください。
現地販売会社に関する情報は、このドキュメントの項目16にあります。
- ・ 緊急連絡電話番号 重大な事故が発生した場合には、119を呼び出します。

項目 2: 危険有害性の要約

- ・ 化学品のGHS分類
- | | |
|---------------------|------------------------|
| 引火性液体 区分2 | H225 引火性の高い液体及び蒸気 |
| 皮膚腐食性/刺激性 区分2 | H315 皮膚刺激 |
| 重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分2A | H319 強い眼刺激 |
| 感作性(皮膚) 区分1 | H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ |
| 生殖細胞変異原性 区分2 | H341 遺伝性疾患のおそれの疑い |
| 特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分3 | H336 眠気又はめまいのおそれ |

- ・ GHSラベル要素(絵表示又はシンボル, 注意喚起語, 危険有害性情報及び注意書き)
- ・ GHS ラベル要素
本製品はGHS(化学品の分類および表示に関する世界調和システム)により分類及び表示されています。
- ・ 絵表示



GHS02 GHS07 GHS08

- ・ 注意喚起語 危険
- ・ 危険と定められた成分をラベル表示:
フェノール樹脂
フェノール
- ・ 危険有害性情報
H225 引火性の高い液体及び蒸気
H315 皮膚刺激
H319 強い眼刺激
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H341 遺伝性疾患のおそれの疑い
H336 眠気又はめまいのおそれ

(2ページに続く)



安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2023.02.16

バージョン番号: 2

改訂日: 2023.02.16

化学品の名称 GC 8

(1ページの続き)

注意書き

- P210 熱, 高温のもの, 火花, 裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
- P241 防爆型の【電気機器／換気装置／照明機器】を使用すること。
- P303+P361+P353 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。
- P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- P405 施錠して保管すること。
- P501 現地/地域/国/国際規定に従い内容物・容器の廃棄
- ・GHS分類に関係しない又はGHSで扱われない他の危険有害性
- ・PBT(残留性、生物濃縮性、毒性物質)及びvPvB(高残留性、高生物濃縮性物質)アセスメント
- ・PBT(残留性、生物濃縮性、毒性物質):
本製品は、PBTの物質ではありません。また同物質を含有していません。
- ・vPvB(高残留性、高生物濃縮性物質):
本製品は、vPvBの物質ではありません。また同物質を含有していません。

項目 3: 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物

危険な含有成分:

CAS: 78-93-3	メチルエチルケトン 引火性液体 区分2, H225; 重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分2A, H319; 特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分3, H336	50-<70%
CAS: 108-95-2	フェノール 急性毒性(経口) 区分3, H301; 急性毒性(経皮) 区分3, H311; 急性毒性(吸入) 区分3, H331; 生殖細胞変異原性 区分2, H341; 特定標的臓器有害性(反復暴露) 区分2, H373; 皮膚腐食性/刺激性 区分1B, H314; 水生環境有害性(慢性毒性) 区分2, H411	1-<2.5%
CAS: 120-78-5	MBTS 感作性(皮膚) 区分1, H317	0.1-<0.25%
CAS: 9003-35-4	フェノール樹脂 感作性(皮膚) 区分1, H317	1-<10%

項目 4: 応急措置

応急手当処置に関する説明

- ・一般情報: 化学品の付着した衣類は速やかに脱ぐこと
- ・吸入した場合 外気を送る、つらい場合には医師を呼ぶ
- ・皮膚に付着した場合
汚れた、成分のしみ込んだ衣類はすぐに脱ぐ
即刻石鹼と水で洗い、よくすすぐ
皮膚の刺激が続く場合には医者の診察を受ける
- ・眼に入った場合
15分間流水で目を洗い流し、直ちに医師に連絡する
状態が好転しない場合には直ちに医師に連絡する
- ・飲み込んだ場合
口をすすぐ
無理に吐かせないこと。

(3ページに続く)

安全データシート JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2023.02.16

バージョン番号: 2

改訂日: 2023.02.16

化学品の名称 GC 8

(2ページの続き)

- 医師に連絡する
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状
水蒸気が眠気の原因あるいは軽いめまいの原因となり得る
強い眼刺激
アレルギー症状
皮膚と粘膜を刺激
- 何らかの即時医療処置及び特別治療の必要性を示す兆候 症状から判断して治療を行ってください。

項目 5: 火災時の措置

- 消火剤
- 適切な消火剤
周辺の状況に合わせた消火措置を取る
霧水
泡
消火粉末
二酸化炭素
- 使ってはならない消火剤 全開状態で放水
- 本化学物質または混合物から発生する特別な危険性
発火しやすい
加熱もしくは火災の際に有毒ガスを発生する可能性あり
- 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
- 特別な保護装備:
酸素ボンベ付き呼吸保護装備を着用
完全防護服を着用
- その他の情報
汚染された消火水は分けて回収、下水に直接流してはいけない
火災残留物および汚染された消火水は関係当局の規則に従って処分する

項目 6: 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項,保護具及び緊急時措置
十分な換気を心がける
発火源は遠ざける
防護服を着用、防護服を着用していない人は近づけない
蒸気を吸い込まない
- 環境に対する注意事項
下水、地上水あるいは地下水に達しないようにする
送る容器に入れて再利用先もしくは処分先に送り込む
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材
火花を発生させない工具を使用すること。
液体吸収材 (砂、珪藻土、酸結合剤、ユニバーサル結合剤、おがくず) で吸収する
13項に従い汚染材は廃棄物として処理する
- 他の項目への言及
安全な取り扱い方に関しては 7 項を参照
人の保護装備の情報に関しては 8 項を参照
廃棄処分に関しては 13 項参照

JP

(4ページに続く)



安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2023.02.16

バージョン番号: 2

改訂日: 2023.02.16

化学品の名称 GC 8

(3ページの続き)

項目 7: 取扱い及び保管上の注意

- ・ **取扱い**
 - 十分な換気を心がける
 - 加工機械には適切な吸い取り装置をほどこす
 - 静電気充電の対策措置をとる
 - 火花を発生させない工具を使用すること。
 - 容器は十分に注意しながら開封し、取り扱う
 - エアゾールの発生を防ぐ
 - 作業中は飲食しない、禁煙
 - 人の保護装備の情報に関しては 8 項を参照
 - 取扱い場所の近くに、洗眼瓶または緊急洗眼器を設置する
- ・ **火災および爆発防止に関する注意事項:**
 - 発火しやすい
 - 加工の際には揮発性、発火性成分が遊離する
 - 蒸気は空気と結合すると、爆発性混合物を発生する場合がある
 - 空容器の中で発火性混合物が生成される場合がある
 - 着火源から遠ざける、禁煙
 - 静電気放電を防ぐ措置をほどこす
 - 呼吸保護具を着用する
- ・ **混融危険性を含めた安全貯蔵条件**
- ・ **保管**
- ・ **安全な保管条件および容器**
 - よく密閉した容器の中で涼しく乾燥した場所に保管する
 - 日光から遮断すること。
- ・ **同じ場所に保管する際の注意事項:** 可燃物ら遠ざけること。
- ・ **保管条件に関するその他の注意事項:** 施錠して保管する
- ・ **消防法** 第四類, 引火性液体
- ・ **特定の最終用途**
 - 接着剤
 - 専門家のみが使用

項目 8: ばく露防止及び保護措置

・ 許容濃度等

・ 作業場において限界値の監視を要する成分:

CAS: 78-93-3 メチルエチルケトン

OEL | 長期値: 590 mg/m³, 200 ppm

CAS: 108-95-2 フェノール

OEL | 長期値: 19 mg/m³, 5 ppm

・ 人が健康上の理由によりこの物質にばく露されてはいけない数値

CAS: 78-93-3 メチルエチルケトン

皮膚 | 人が健康上の理由によりこの物質に | 1,161 mg/kg/day ((作業者))

吸収 | 人が健康上の理由によりこの物質に | 600 mg/kg/day ((作業者))

CAS: 108-95-2 フェノール

経口 | 人が健康上の理由によりこの物質に | 0.4 mg/kg bw/day ((消費者))

皮膚 | 人が健康上の理由によりこの物質に | 1.23 mg/kg bw/day ((作業者))

(5ページに続く)

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2023.02.16

バージョン番号: 2

改訂日: 2023.02.16

化学品の名称 GC 8

(4ページの続き)

吸収	人が健康上の理由によりこの物質に	8 mg/m3 ((作業者))
・ 予測無影響濃度		
CAS: 108-95-2 フェノール		
予測無影響濃度	0.0077 mg/L (淡水)	
・ 生物学的許容値を持つ原料:		
CAS: 78-93-3 メチルエチルケトン		
OEL-B	5 mg/l 試料: 尿 試料採取時期: 試料採取時期 物質: メチルエチルケトン	
CAS: 108-95-2 フェノール		
OEL-B	250 mg/g Cr 試料: 尿 試料採取時期: 作業終了時 物質: フェノール	

- ・ **追加注意事項:** 生成時に有効なリストがもとなっている
- ・ **設備対策**
- ・ **技術設備の形体に関する追加注意事項:** 換気の良い場所で使用
- ・ **保護具**
- ・ **一般防止措置および衛生措置:**
 - 食物、飲み物、飼料からは遠ざける
 - 汚れのしみ込んだ衣類は直ちに脱ぐ
 - 休憩の前、作業終了後には手を洗う
 - 保護服は別に保管する
 - 換気の良い場所で使用
 - 十分な換気がおこなわれない場合には呼吸保護装置を装着する
- ・ **呼吸保護器具:**
 - 十分な換気がおこなわれない場合には呼吸保護装置を装着する
 - Filter A



短時間もしくは負担が小さい場合には呼吸フィルター付装置を、集中的にあるいは長時間触れる場合には、酸素ボンベ付き呼吸保護装置を使用すること

- ・ **手の保護:**
 - 手袋/耐溶性性



保護手袋

手袋の材質は物質/材料/調合剤に対して耐性であり、成分を通すことがあってはならない
浸透時間、透過性および劣化の点を留意しながら手袋の材質を選択する

- ・ **手袋材**
 - ブチルゴム(BR)
 - ニトリルゴム(NBR)
 - 手袋は材質だけでなく、その他の品質によっても変わり、各メーカーによって異なる。調合する際の物質は複数の成分から生成されるため、手袋材質の耐久性は予想できない、このため使用前には必ずチェックしなければならない

(6ページに続く)

安全データシート
JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2023.02.16

バージョン番号: 2

改訂日: 2023.02.16

化学品の名称 GC 8

(5ページの続き)

・ 眼の保護:



密閉式保護めがね

・ 体の保護: 防護服を着用

・ 周辺への曝露の制限と監視 環境への放出を避けること。

項目 9: 物理的及び化学的性質

・ 基本的な物理及び化学特性に関する情報

・ 一般事項

・ 色

黄色～茶色

・ 臭い

溶剤のにおい

・ 嗅覚閾値

決まっていない

・ 融点／凝固点(混合物の場合は,記載省略可)

決まっていない

・ 沸点又は初留点及び沸点範囲

80 °C

・ 可燃性

情報なし

・ 爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界

・ 下限:

1.8 Vol %

・ 上限:

11.5 Vol %

・ 引火点

-4 °C

・ 発火温度:

使用できない

・ 分解温度

決まっていない

・ pH

決まっていない

・ 粘性:

・ 力学的

決まっていない

・ 動粘性率 約 20 °C:

4,000 mPas

・ 溶解度(混合物の場合は,記載省略可)

・ 水:

不溶性

・ n-

オクタノール／水分配係数(log値)(混合物の場合は,
記載省略可)

決まっていない

・ 蒸気圧 約 20 °C

105 hPa

・ 密度及び／又は相対密度

・ 密度 約 20 °C:

0.89 g/cm³

・ 相対ガス密度

決まっていない

・ 蒸気密度

決まっていない

・ その他のデータ

・ 外観

・ 形:

ペースト状

・ 自然発火点

この製品は自然発火しない

・ 爆発の危険:

製品は爆発する危険はない。ただし爆発する危険のある
蒸気と空気の混合物を形成する可能性はある

・ 溶剤含有量:

・ 有機溶剤:

51-<72.5 %

・ 固形物含有量:

30.0 %

(7ページに続く)

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2023.02.16

バージョン番号: 2

改訂日: 2023.02.16

化学品の名称 GC 8

(6ページの続き)

- ・状態の変化
 - ・滴点:
 - ・火災を加速させる特性を持つ
 - ・気化速度
- 情報なし
決まっていない。

項目 10: 安定性及び反応性

- ・反応性 追加的な関連情報は得られていません。
- ・化学的安定性 製品が推奨される使用および貯蔵条件下で安定です。
- ・熱分解/回避すべき条件: 規定どおりの使用では分解しない
- ・危険有害反応可能性 発火性のあるガス/蒸気が発生する
- ・避けるべき条件 追加的な関連情報は得られていません。
- ・混触危険物質 追加的な関連情報は得られていません。
- ・危険有害な分解生成物 危険な分解プロダクトはない

項目 11: 有害性情報

・毒性学的影響に関する情報

・急性毒性

CAS: 78-93-3 メチルエチルケトン

経口 LDLo 2,740 mg/kg (ラット)

皮膚 LDLo 6,480 mg/kg (ウサギ) (LD50)

CAS: 108-95-2 フェノール

皮膚 LDLo 630 mg/kg (ウサギ) (LD50)

・分類上の LD/LC50 値:

CAS: 78-93-3 メチルエチルケトン

経口 LD50 3,300 mg/kg (ラット)

CAS: 108-95-2 フェノール

経口 LD50 317 mg/kg (ラット)

皮膚 LD50 850 mg/kg (ウサギ)

・皮膚腐食性/刺激性

皮膚刺激

・眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

強い眼刺激

・呼吸器感受性又は皮膚感受性 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

・生殖細胞変異原性

遺伝性疾患のおそれの疑い

・発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。

・生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。

・特定標的臓器毒性(単回ばく露)

眠気又はめまいのおそれ

・特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。

・呼吸器に危険 情報なし

・誤えん有害性 追加的な関連情報は得られていません。

(8ページに続く)

安全データシート
JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2023.02.16

バージョン番号: 2

改訂日: 2023.02.16

化学品の名称 GC 8

(7ページの続き)

- ・ 次の種類の潜在的な効果に対する情報
- ・ CMR-作用 (癌誘発、因子変異、そして進化危険作用)
生殖細胞変異原性 区分2

* 項目 12: 環境影響情報

・ 毒性

・ 水生生物に対する毒性:

CAS: 108-95-2 フェノール

LC50 (48 h) 0.00175-67.5 mg/L (魚) (96 h.)

EC50 (48 h) 3.1 mg/L (ミジンコ)

NOEC 0.077 mg/l

・ 残留性・分解性

CAS: 108-95-2 フェノール

生分解性 62 %

- ・ 生態蓄積性 追加的な関連情報は得られていません。
- ・ 土壌中の移動性
水への溶解度が低い。
この製品は土壌中を移動することは想定されていません。
- ・ PBT(残留性、生物濃縮性、毒性物質)及びvPvB(高残留性、高生物濃縮性物質)アセスメント
- ・ PBT (残留性、生物濃縮性、毒性物質):
本製品は、PBT の物質ではありません。また同物質を含有していません。
- ・ vPvB (高残留性、高生物濃縮性物質):
本製品は、vPvB の物質ではありません。また同物質を含有していません。
- ・ 他の副作用 追加的な関連情報は得られていません。

項目 13: 廃棄上の注意

- ・ 化学品(残余廃棄物)、当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
- ・ 推奨:
専門廃棄物回収業者に引き渡すか、危険物質集積所に持ち込む
家庭ごみとは一緒に処分できない、下水に流してはならない
- ・ 洗浄されていないパッケージ:
推奨: 洗浄できないパッケージは製品と同様の方法で処分する

項目 14: 輸送上の注意

・ 国連番号

ADR, IMDG, IATA

UN1133

・ 品名(国連輸送名)

ADR

1133 ADHESIVES, containing flammable liquid

IMDG, IATA

ADHESIVES, containing flammable liquid

(9ページに続く)

安全データシート
JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2023.02.16

バージョン番号: 2

改訂日: 2023.02.16

化学品の名称 GC 8

(8ページの続き)

・国連分類(輸送における危険有害性クラス)

・ADR, IMDG, IATA



・分類 3 可燃性液体成分
・危険物ラベル 3

・容器等級

・ADR, IMDG, IATA III

・環境危険:

・海洋汚染物質 いいえ

・ユーザー用特別予防措置

警告: 可燃性液体成分

・ケムラー符号:

-

・EMS (電子メールサービスナンバー) 番号:

F-E,S-D

・Stowage Category

A

・MARPOL73/78附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

情報なし

・輸送/その他の説明:

・ADR

・Excepted quantities (EQ)

Code: E1

Maximum net quantity per inner packaging: 30 ml
Maximum net quantity per outer packaging: 1000 ml

・注:

Viscous according to ADR § 2.2.3.1.4 (Packaging group III when packed in receptacles not exceeding 450 L capacity)

・IMDG

・Limited quantities (LQ)

5L

・Excepted quantities (EQ)

Code: E1

Maximum net quantity per inner packaging: 30 ml
Maximum net quantity per outer packaging: 1000 ml

・注:

Viscous according to 2.3.2.2 of the IMDG code (Packaging group III when packed in receptacles not exceeding 30 L capacity)

・IATA

・注:

Viscous according to IATA § 3.3.3.1 (Packaging group III when packed in receptacles not exceeding 30 L capacity)

・UN "模範規制:

UN 1133 ADHESIVES, CONTAINING FLAMMABLE LIQUID, 3, III

JP

(10ページに続く)



安全データシート
JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2023.02.16

バージョン番号: 2

改訂日: 2023.02.16

化学品の名称 GC 8

(9ページの続き)

項目 15: 適用法令

- ・ 該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報 EU Regulation (EC) no.1907/2006 (REACH)
- ・ 化審法

・ 既存化学物質

CAS: 78-93-3	メチルエチルケトン	2-542
CAS: 108-95-2	フェノール	3-481
CAS: 120-78-5	MBTS	5-265

・ 特定化学物質

内容成分はリストアップされていない

・ 監視化学物質、旧第二種監視化学物質、旧第三種監視化学物質

CAS: 108-95-2	フェノール	旧第二
---------------	-------	-----

・ 優先評価化学物質

CAS: 78-93-3	メチルエチルケトン	
CAS: 108-95-2	フェノール	

・ 既存化学物質安全性点検結果(分解性・蓄積性)

全ての内容成分はリストアップされている

・ 既存化学物質安全性点検結果(毒性)

内容成分はリストアップされていない

・ PRTR 制度 - 第一種指定化学物質

CAS: 108-95-2	フェノール	1-349
---------------	-------	-------

・ PRTR 制度 - 特定第一種指定化学物質

内容成分はリストアップされていない

・ PRTR 制度 - 第二種指定化学物質

内容成分はリストアップされていない

・ 毒物及び劇物取締法:劇物

CAS: 78-93-3	メチルエチルケトン	
CAS: 108-95-2	フェノール	

・ 毒物及び劇物取締法:有機シアン化合物から除かれるもの

内容成分はリストアップされていない

・ 毒物及び劇物取締法:毒物

内容成分はリストアップされていない

・ 毒物及び劇物取締法:特定毒物

内容成分はリストアップされていない

・ 労働安全衛生法

・ 危険物

・ 爆発性の物(施行令別表第1第1号)

内容成分はリストアップされていない

・ 発火性の物(施行令別表第1第2号)

内容成分はリストアップされていない

・ 酸化性の物(施行令別表第1第3号)

内容成分はリストアップされていない

(11ページに続く)



安全データシート JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2023.02.16

バージョン番号: 2

改訂日: 2023.02.16

化学品の名称 GC 8

(10ページの続き)

・ 引火性の物(施行令別表第1第4号)		
CAS: 78-93-3	メチルエチルケトン	
・ 可燃性のガス(施行令別表第1第5号)		
内容成分はリストアップされていない		
・ 特定化学物質等		
・ 第一類物質		
内容成分はリストアップされていない		
・ 第二類物質		
内容成分はリストアップされていない		
・ 第三類物質		
CAS: 108-95-2	フェノール	
・ 名称等を通知すべき有害物(別表第9)		
CAS: 78-93-3	メチルエチルケトン	570
CAS: 108-95-2	フェノール	474
・ 製造許可物質		
内容成分はリストアップされていない		
・ 鉛中毒予防規則(施行令別表第4)		
内容成分はリストアップされていない		
・ 四アルキル鉛中毒予防規則(施行令別表第5)		
内容成分はリストアップされていない		
・ 有機溶剤中毒予防規則(施行令別表第6の2)		
・ 第一種有機溶剤等		
内容成分はリストアップされていない		
・ 第二種有機溶剤等		
CAS: 78-93-3	メチルエチルケトン	
・ 第三種有機溶剤等		
内容成分はリストアップされていない		
・ 強い変異原性が認められた化学物質		
内容成分はリストアップされていない		
・ 消防法		
CAS: 78-93-3	メチルエチルケトン	
CAS: 108-95-2	フェノール	
・ 海洋汚染防止法		
CAS: 78-93-3	メチルエチルケトン	
CAS: 108-95-2	フェノール	
・ 特定物質等の規制等によるオゾン層の保護に関する法律		
・ 特定物質代替物質		
内容成分はリストアップされていない		
・ 特定物質		
内容成分はリストアップされていない		
・ 大気汚染防止法		
CAS: 108-95-2	フェノール	

(12ページに続く)

安全データシート JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2023.02.16

バージョン番号: 2

改訂日: 2023.02.16

化学品の名称 GC 8

(11ページの続き)

・ 水質汚濁防止法

・ 有害物質

内容成分はリストアップされていない

・ 指定物質

CAS: 108-95-2 フェノール

3-3-55

・ GHS ラベル要素

本製品はGHS(化学品の分類および表示に関する世界調和システム)により分類及び表示されています。

・ 絵表示



GHS02 GHS07 GHS08

・ 注意喚起語 危険

・ 危険と定められた成分をラベル表示:

フェノール樹脂

フェノール

・ 危険有害性情報

H225 引火性の高い液体及び蒸気

H315 皮膚刺激

H319 強い眼刺激

H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

H341 遺伝性疾患のおそれの疑い

H336 眠気又はめまいのおそれ

・ 注意書き

P210

熱, 高温のもの, 火花, 裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

P241

防爆型の【電気機器／換気装置／照明機器】を使用すること。

P303+P361+P353

皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。

P305+P351+P338

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P405

施錠して保管すること。

P501

現地/地域/国/国際規定に従い内容物・容器の廃棄

・ 化学物質の安全性評価: 化学物質安全性評価が遂行済み

項目 16: その他の情報

この情報は現在の我々の認識に基づいている。ただし、製品の特性を保証するものではなく、また契約において法的根拠にはならない

限定責任

本書は、本製品に関連し、知っておかなければならないリスクに関するガイダンスとして使用することのみを目的としています。本製品を使用して作業に当たる、あるいは本製品の近くで作業に当たる者はすべて、適切な訓練を受ける必要があります。本製品と接触する者は、本製品の取扱い、保管および利用について、各自判断できなければなりません。アルファ・ラバルでは、アルファ・ラバルが全過失を負うような行動を起こしたことが実証されないかぎり、本書記載の欠陥あるいは記載不足が起因となる、または本製品の利用、取扱い、保管または処分に起因する、いずれかの種類の要求、損失または損害については責任を負いかねます。個別事案に関してアルファ・ラバルと書面により同意および指定している事項以外に、アルファ・ラバルは、本書に記載の情報および本書に記載の製品の両方について、市場性または妥当性に関する暗黙の保証を含むがそれらには限定されない、いずれの約束もしない、またはいずれの責任を負わない

(13ページに続く)



安全データシート JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2023.02.16

バージョン番号: 2

改訂日: 2023.02.16

化学品の名称 GC 8

(12ページの続き)

その他の質問は、お近くの Alfa Laval 販売社までお問い合わせください。
www.alfalaval.com

・安全データシート作成部門: Alfa Laval Corporate Standards & Regulatory Operations
・問合せ先

Argentina: alfa.consulta@alfalaval.com

Australia: australia.info@alfalaval.com

Austria: info.mideurope@alfalaval.com

Belgium: benelux.info@alfalaval.com

Bolivia: alfa.consulta@alfalaval.com

Brazil: alfalaval.br@alfalaval.com

Bulgaria: bulgaria.info@alfalaval.com

Canada: alfacan.info@alfalaval.com

Chile: chile.informacion@alfalaval.com

China: china.info@alfalaval.com

Colombia: info.colombia@alfalaval.com

Croatia: hrvatska.info@alfalaval.com

Czech Republic: czechrepublic.info@alfalaval.com

Denmark: info.nordic.dk@alfalaval.com

Egypt: alme.marketing@alfalaval.com

Estonia: estonia.info@alfalaval.com

Finland: info.fi@alfalaval.com

France: environnement@alfalaval.com

Germany: info.mideurope@alfalaval.com

Greece: greece.info@alfalaval.com

Hungary: info.hu@alfalaval.com

India: india.info@alfalaval.com

Indonesia: alfalindo@alfalaval.com

Israel: israel.info@alfalaval.com

Italy: alfalaval.italia@alfalaval.com

Japan: hp.alfajp@alfalaval.com

Latvia: latvia.info@alfalaval.com

Lithuania: lithuania.info@alfalaval.com

Malaysia: malaysia.info@alfalaval.com

Mexico: mexico.info@alfalaval.com

The Netherlands: benelux.info@alfalaval.com

New Zealand: newzealand.info@alfalaval.com

Norway: info.no@alfalaval.com

Peru: ventas.peru@alfalaval.com

Philippines: philippines.info@alfalaval.com

Poland: poland.info@alfalaval.com

Portugal: portugal.info@alfalaval.com

Qatar: alme.marketing@alfalaval.com

Romania: romania.info@alfalaval.com

Russia: moscow.response@alfalaval.com

Singapore: al.singapore@alfalaval.com

Slovak Republic: slovakia.info@alfalaval.com

Slovenia: slovenija.info@alfalaval.com

South Africa: info.sa@alfalaval.com

Spain: info.spain@alfalaval.com

Sweden: info.se@alfalaval.com

Switzerland: info.mideurope@alfalaval.com

Taiwan: taiwan.info@alfalaval.com

Thailand: thailand.info@alfalaval.com

Turkey: turkey@alfalaval.com

(14ページに続く)



安全データシート JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2023.02.16

バージョン番号: 2

改訂日: 2023.02.16

化学品の名称 GC 8

(13ページの続き)

Ukraine: ukraine.info@alfalaval.com
United Arab Emirates: alme.marketing@alfalaval.com
United Kingdom: general.uk@alfalaval.com
United States: customerservice.usa@alfalaval.com
Venezuela: venezuela.info@alfalaval.com
Vietnam: vietnam.info@alfalaval.com

略語と略称

ADR: Accord relatif au transport international des marchandises dangereuses par route (European Agreement Concerning the International Carriage of Dangerous Goods by Road)
IMDG: International Maritime Code for Dangerous Goods
IATA: International Air Transport Association
EINECS: European Inventory of Existing Commercial Chemical Substances
ELINCS: European List of Notified Chemical Substances
CAS: Chemical Abstracts Service (division of the American Chemical Society)
DNEL: Derived No-Effect Level (REACH)
PNEC: Predicted No-Effect Concentration (REACH)
LC50: Lethal concentration, 50 percent
LD50: Lethal dose, 50 percent
PBT: Persistent, Bioaccumulative and Toxic
vPvB: very Persistent and very Bioaccumulative
引火性液体 区分2: Flammable liquids – Category 2
急性毒性(経口) 区分3: Acute toxicity – Category 3
皮膚腐食性/刺激性 区分1B: Skin corrosion/irritation – Category 1B
皮膚腐食性/刺激性 区分2: Skin corrosion/irritation – Category 2
重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分2A: Serious eye damage/eye irritation – Category 2A
感作性(皮膚) 区分1: Skin sensitisation – Category 1
生殖細胞変異原性 区分2: Germ cell mutagenicity – Category 2
特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分3: Specific target organ toxicity (single exposure) – Category 3
特定標的臓器有害性(反復暴露) 区分2: Specific target organ toxicity (repeated exposure) – Category 2
水生環境有害性(慢性毒性) 区分2: Hazardous to the aquatic environment - long-term aquatic hazard – Category 2

* 前の版からデータを変更